製品名: **TRPM8 (8F1) ウサギモノクローナル抗体**
カタログ番号: **AMRe19323**
研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4℃、長期保存は-20℃で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	128kDa

抗原情報

遺伝子名	TRPM8
別名	LTrpC6; MGC2849; Transient receptor potential p8; Trp p8; Trpm8; TRPP8;
遺伝子 ID	79054.0
SwissProt ID	Q7Z2W7
免疫原	ヒト TRPM8 の合成ペプチド

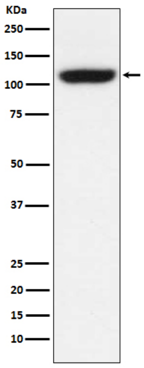
背景

イシリン、ユーカリプトール、メントール、冷たさ、細胞内 pH の調整によって活性化されます。メントール感覚に関与します。一価カチオンであるナトリウム、カリウム、セシウムと二価カチオンであるカルシウムを透過します。受容体活性化非選択性カチオンチャネルは、25 ℃ 以下の冷温度によって活性化され、冷たさなどの感覚の検出に関与します。イシリン、ユーカリプトール、メントール、冷たさ、細胞内 pH の調整によって活性化されます。メントール感覚に関与します。一価カチオンであるナトリウム、カリウム、セシウムと二価カチオンであるカルシウムを透過します。温度感知は、電圧依存性ゲーティングと密接に関連しています。脱分極時に活性化され、温度変化によって電圧依存性活性化曲線が段階的にシフトします。化学作動薬のメントールはゲーティング修飾子として機能し、活性化曲線を生理的膜電位の方へシフトさせます。温度感受性は、電圧依存的な開閉に伴う活性化エネルギーの 10 倍の差から生じます。前立腺癌細胞では、強い内向き整流性と高いカルシウム選択性を示しますが、これは正常細胞では外向き整流性と低い陽イオン選択性を特徴とするのとは対照的です。前立腺癌細胞の移動に関与しています（PubMed:25559186）。アイソフォーム 2 およびアイソフォーム 3 は、メントールおよび冷気によって誘発されるチャネルの活性を負に制御し、チャネルの閉状態を安定化させます。

研究分野

-

画像データ



A549 細胞溶解物における TRPM8 発現のウェスタン ブロット解析。